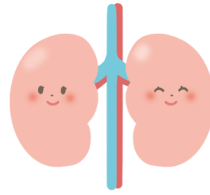


南6病棟 泌尿器科・腎臓内科



～泌尿器科～

結石

がん

感染

腎臓・尿管・膀胱・前立腺・精巣などの尿路系疾患を対象にしており、外科的治療に加え、化学療法・免疫療法・内分泌療法・分子標的薬物療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療を実施しています。

泌尿器科の看護

悪性腫瘍に対する網羅的な治療の看護に加え、退院後の生活を視野に入れた腎瘻管理やストーマケア、ターミナル期の患者・家族に対する個別性に合わせたケアを行っていきます。

ストーマ装具交換の指導



尿をためる袋を
定期的に変換・指導
します



尿の通り道が
お腹にできます

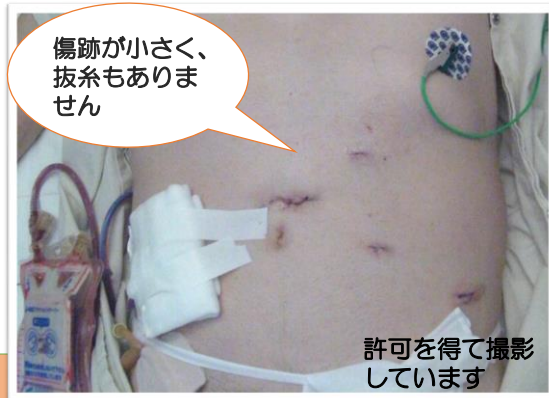
許可を得て撮影し
ています

尿路変向患者さんのストーマ管理の指導を行っています

泌尿器科手術後の管理

〈手術の例〉

- ・生体腎移植
- ・膀胱全摘＋尿路変向術
- ・経尿道的膀胱腫瘍切除術
- ・ロボット支援下腎部分切除術
- ・ロボット支援下腹腔鏡下
前立腺全摘除術
などなど...



外科病棟であり手術が多いです。
かつては開腹で行っていた手術も腹腔鏡やロボット
を使った術式で行うことが増えています。

～腎臓内科～

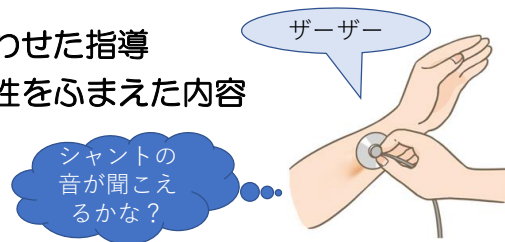


- ・ネフローゼ症候群、腎炎、腎不全患者の診断・治療を
対象としています。
- ・腎生検、シャント造設術、血液透析・腹膜透析を行う
患者さんに対し、術前・術後の指導や退院後の生活環
境を考慮した指導を行っています。
- ・慢性腎臓病の患者さんに、少しでも腎臓を守り病状が
進行しないように腎臓教育を行っています。

腎臓内科の看護

【慢性疾患と長く付き合うことができるように促す関わり】

- 自宅での健康管理の促し
→栄養指導、運動療法、体重管理、内服管理
- シヤントや腹膜透析、血液透析の自己管理指導
- ライフスタイルに合わせた指導
→食事や運動の個別性をふまえた内容



透析について

慢性腎不全の治療法は①腹膜透析②血液透析③腎移植です。
血液透析は透析室、腹膜透析は主に病棟で管理しています。

腹膜透析とは・・・

腹膜内に透析液を注入し、自らの腹膜を透析膜として用いる透析方法。
手術で腹腔内に留置したカテーテルから透析液を注入し、6～8時間経過した後に取り出して新しい透析液を注入します。

患者さんのライフスタイルに合わせて選択できます。

手動的に
1日に複数回
実施するCAPD

夜間、機械を使って
自動かつ持続的に透析を
行うAPD

患者指導

慢性腎臓病とは長い付き合いになります。病気の進行を遅らせるために、生活習慣を見直して自己管理できるよう指導を行っています。



透析導入となった患者はボディイメージの変容、生涯透析が必要になることなど精神的負担を伴うため、心のケアにも力を入れています。

若手職員紹介

●京大 花子さん

●入職2年目、泌尿器科・腎臓内科

●主な仕事内容

- ・手術・化学療法・放射線治療等の看護
- ・ウロストーマ装具交換、自己導尿指導
- ・腎生検の介助
- ・腹膜透析手技、シャント管理指導
- ・清拭や陰部洗浄など保清ケア、オムツ交換などADL介助、終末期患者のケア



日勤の一日の流れ

- 08:00 ● 始業、情報収集、全体申し送り
- 09:00 ● ラウンド、採血、保清、化学療法等実施、腎生検介助
- 13:30 ● 昼休憩後、カンファレンス
- 14:00 ● 午後のラウンド、術後管理等
- 16:45 ● 終業
- 17:30 ● 帰宅、夕食
- 19:00 ● 入浴、自由時間
- 23:00 ● 就寝

仕事をするうえで大切にしていること

患者さんの状態や処置の内容から優先順位を考え、効率よく業務をこなすことも大切ですが、限られた業務時間の中で患者さん一人一人と向き合い、少しでもニーズに応え、安心・安全・安楽な看護を提供できるように心がけています。日々受け持ちの患者さんは変わりますが、PNSだからこそ先輩には報連相をしっかり行うようにしています。悩んだり判断に迷ったときには、先輩に相談したり、カンファレンスでも情報共有しチームで統一した看護を行うように心がけています。

メッセージ

南6病棟は内科・外科の混合病棟なので内服管理や生活指導、化学療法や周手術期管理までさまざまな看護を実践することができます！病棟の雰囲気も良く、新人看護師を病棟全体で支えてくれるのでとても働きやすいです。みなさんと働ける日を楽しみにしています！(^^)